

チュチェ思想は朝鮮人民の勝利の旗印として輝いている

アフリカ・チュチェ思想研究委員会副理事長
エジプト・チュチェ思想研究委員会委員長
ヤヒーヤ・ザカリア・カールアラ

金日成主席について話そうとすれば数百冊の本が必要です。

チュチェ思想が朝鮮人民に与えた影響力について論じる時、われわれは金日成主席によって朝鮮人民が収めた奇跡について話すようになります。

金日成主席は朝鮮人民の師であり、領袖であり、慈父でした。

チュチェ思想は研究に値し、適用に値する、価値をもつ指導思想です。人間はすべての事物を改造する自主的で創造的かつ意識的な存在としての自己の真の価値を探求してきました。こういうことから自主性の意味について知るようになり、自主性を要求しました。

人間は自主性を蹂躪し抹殺しようとする者と立ち向かって長期間、闘争をくり広げました。問題は人間を奴隸にしようとする者のほとんどが自分の祖先たちの行為に何らの恥も感じることなく、自分の権利のみを主張しているということです。

わたしはそのような者たちに「顔に粉飾するな。それでは君たちの醜い本性が変わらようになる」といいます。

世界で人間によって立派な改造が成されても、また科学技術的、情報的発展によって大きな発展が遂げられても、今もチュチェ思想は科学界と世界のインテリの間で論議されており、チュチェ思想が永遠に存在しなければならないということについて強調しています。われわれが暮している現代の要求とわれわれが直面した新たな条件と資料に照らして見ると、「強者生存」を喧伝する人類の敵らが作り出した法の支配下にある地球上のすべての地域で暮らす人たちにチュチェ思想が必ず必要であることを知るようになるでしょう。

わたしは討論でチュチェ思想がもたらした主要改変にたいする理解で提起される諸問題について話そうと思います。

すべての哲学者は制度から出発した国家建設に関心をもっていました。彼らは人間を優先的地位に置かず、国家建設の土台の構築を論じました。

しかし、金日成主席は朝鮮人民を国家建設で大きな土台として見なしました。人間のいない国家の価値について考えられますか？意識的な人間のいない制度の価値は何ですか？人間のいない軍事装備の価値は何ですか？人間のいない貴

金属の価値は何ですか？人間のいない祖国などありますか？これにたいする答えは火を見るよりも明らかだと思います。

革命思想であるチュチェ思想は徒手空拳で始まった朝鮮革命の唯一の武器です。90余年前に金日成主席は、革命と建設の主人は人民大衆であり、革命と建設をおし進める力も人民大衆にあるというチュチェ思想を創始しました。

当時、朝鮮は日本帝国主義の軍事的占領（1905—1945）下にありました。外部勢力の軍靴のもとで呻吟する民族の不幸を痛切に感じながら成長した金日成主席は日本帝国主義者を打ち破り、国の独立をなし遂げるという決心と念願を抱き、早くから革命の道に身を投じました。

日本帝国主義打倒はすなわち国際的に公認された日本の軍事力にたいする勝利、日本のヒステリックな「大和」魂にたいする勝利、明治維新後、70年間、新しい日本が蓄積した人的、物的および財政的資源を減少させる戦闘での勝利を意味しました。

その時、金日成主席が信じたのは正義の偉業は必ず勝利するという確信であったし、朝鮮人民の力でした。

われわれはひたすら人民大衆の力を信じなければならない、われわれは2千万の人民を信じ、それに依拠して日本帝国主義に反対する血戦を展開しなければならない、これはほかならぬ金日成主席が卡倫でおこなわれた共産主義青年同盟および反帝青年同盟の幹部会議（1930年6月30日—7月2日）でおこなった歴史的な報告「朝鮮革命の進路」で闡明した思想でした。

朝鮮革命の主人は朝鮮人民であり、いかなる場合にも朝鮮革命は朝鮮の実情に合わせて朝鮮人民自身の力でおこなわなければならぬというのが朝鮮革命の路線、指導思想となりました。

朝鮮人民はチュチェのスローガンを高く掲げて抗日武装闘争を展開することにより、祖国解放の歴史的偉業をなし遂げました。

一部の国々が新しい朝鮮の国づくりができるかどうか、首を傾げていたとき、朝鮮人民は祖国解放（1945年8月15日）以後、自力で朝鮮民主主義人民共和国を創建しました。

祖国解放戦争（1950—1953）以後、帝国主義者は朝鮮が100年経っても再建できないと豪語しましたが、朝鮮人民は復旧建設をたった数年内に終えました。

朝鮮人民は革命と建設で提起されるすべての問題を自力更生の原則で、朝鮮の現実と利益に合わせて自分の決心と意志に従って解決し、すべての分野でチュチェと自主性の原則を確固と堅持しました。

大国主義者が「統合経済」を云々しながら朝鮮に「コメコン」に入ることを要

求した時にも朝鮮人民は自分の力で生きていく立場を堅持しながら自立的民族経済を建設しました。社会主义経済建設の基本路線は重工業を優先的に発展させながら軽工業と農業を同時に発展させることであり、思想、技術、文化の3大革命路線、全軍幹部化、全軍現代化、全民武装化、全国要塞化の自衛的軍事路線など、革命の各年代に示された路線は「われわれの方式で生きよう！」という朝鮮人民の意志をそのまま反映しました。

さる世紀90年代の中葉、朝鮮を孤立圧殺しようとする帝国主義者の策動と持続する自然災害によって祖国と民族の運命を決するもっとも厳しい情勢の中でも朝鮮人民は先軍（軍事優先）の旗を高く掲げて自立経済の土台を強固に築き、社会主義を生命のごとく固守しました。

反共和国孤立圧殺勢力の策動は今日も続いています。

しかし過酷で長期的な条件において自力で生きていく方法を心得ている朝鮮人民にとって自力更生と自給自足は彼らの不变の信念となりました。朝鮮の創造精神であり、愛国気風である自力更生の精神によって国防力はもっとも高い水準に達し、人民経済の主体化、現代化、情報化、科学化を実現するための活動が推進されています。

朝鮮では黄金の山、黄金の原、黄金の海の新しい歴史がもたらされ、建設の新しい神話が創造されました。人民の夢と理想は日増しに現実となるでしょう。

チュチェ思想は社会主义強国建設を力強くおし進める朝鮮人民の永遠な勝利の旗印として輝いています。

朝鮮は金正恩総書記の政治下でもっとも明るい時代を迎えています。

金正恩総書記のすべての関心は朝鮮人民に向けられており、金正恩総書記の関心の焦点は人民生活の向上にあります。金正恩総書記は教育、青年、保健医療、生活のすべての側面に关心を払っています。

われわれはこの場で朝鮮民主主義人民共和国の指導部と人民にたいするわれわれの連帯と信頼を表します。新型コロナウイルス感染症によって招かれた世界的な経済危機の中で朝鮮民主主義人民共和国が収めた成果を称揚します。

終わりに、わたしは人間が世界でもっとも貴重な存在であるということを宣言しながら人類の敵に、人権の看板のもとに自分らの利益のために人間を利用するな、と言いたいです。人類の敵よ、人間から手を離して犯した罪滅ぼしをしろ、君たちは人々を占領し、彼らの力を強奪することにより、彼らの人権を蹂躪した。今、君たちは本性を現わした。

人間は自主的で創造的かつ意識的な存在、地球上でもっとも貴重な存在として残っているでしょう。